

県営土地改良事業変更計画書
農地整備事業(経営体育成型)

高岡福田地区

兵 庫 県

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地域及び地積	2
第 1 節 地 域	2
第 2 節 地 積	2
第 3 章 現 況	3
第 1 節 気象及び海象	3
1. 一般気象	3
2. 特殊気象	3
3. 海 象	3
第 2 節 土地状況	4
1. 地形、土壌及び浸食の程度	4
2. 土地分類	4
3. 土地利用の状況	5
4. 土地所有の状況	5
第 3 節 水利状況	6
1. 用水状況	6
2. 排水状況	8
3. 河川状況	12
第 4 節 道路現況	12

1. 道路概況	12
2. 主要道路一覧表	12
第 5 節 地域農業の概況	14
1. 産業別就業人口	14
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	14
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	14
4. 主要作物作付状況	15
5. 農業の動向	15
第 6 節 地域環境の概況	16
第 4 章 一般計画	17
第 1 節 事業計画の要旨	17
1. 要 旨	17
2. 事業別面積	17
第 2 節 営農計画及び土地利用計画	18
1. 営農計画の概要	18
2. 土地利用区分	18
3. 作付方式	19
4. 生産計画	20

5. 労働改善計画	20
6. 級地別土地利用区分	21
7. 土地配分計画	21
第3節 用水計画	22
1. 計画基準年	22
2. 計画かんがい方式	22
3. 計画用水系統	22
4. 計画用水量	23
5. 水源計画	25
第4節 排水計画	29
1. 計画基準雨量	29
2. 計画排水方式	29
3. 計画排水系統	29
4. 計画排水量	31
5. 排水対策	31
6. 湛水検討	(該当なし)
第5節 道路計画	34
1. 道路及び索道	34
2. 路線配置図	34
第6節 農用地造成計画	36

1. 農用地造成計画	(該当なし)
2. 土壤改良	(該当なし)
第7節 洪水調節計画	36
1. 計画基準雨量	(該当なし)
2. 計画洪水量及び調節量	(該当なし)
3. 貯水池	(該当なし)
4. 洪水調節検討	(該当なし)
5. 管理計画	(該当なし)
第8節 干拓計画	36
第9節 農用地整備計画	37
1. 区画整理	37
2. 暗渠排水	39
3. 客土	39
4. 農地保全	39
第10節 老朽ため池改修計画	39
1. 洪水吐改修計画	(該当なし)
2. 堤体補強計画	(該当なし)
3. 取水施設改修計画	(該当なし)
第5章 主要工事計画	41
第1節 用水施設	41

1. 貯水池	41
2. 頭首工	41
3. 揚水機	41
4. 用水路	42
5. その他かんがい施設	43
第2節 排水施設	44
1. 排水水門	44
2. 排水機	44
3. 排水路	45
4. その他排水施設	46
第3節 道路及び索道	47
1. 道路	47
2. 索道	48
第4節 農用地造成	48
1. 農用地造成	(該当なし)
2. 土壌改良	(該当なし)
第5節 洪水調節施設	48
1. 貯水池	(該当なし)
2. 頭首工及び導水施設	(該当なし)
第6節 干拓施設	48

1. 堤防	(該当なし)
2. 潮止め	(該当なし)
3. 付属施設	(該当なし)
4. 埋立	(該当なし)
第7節 農用地整備施設	49
1. 区画整理	49
2. 暗渠排水	49
3. 客土	50
4. 除礫	50
5. 農地保全	50
第8節 老朽ため池改修施設	50
1. 貯水池	(該当なし)
2. 堤体補強施設	(該当なし)
第6章 附帯工事計画	51
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	51
第8章 環境との調和への配慮	52
第9章 換地計画の概要	53
第1節 換地計画を作成する上での 基本的な考え方	53
第2節 換地区の設定	53

1. 換地区の名称、所在、面積	53	参考資料
2. 換地区を設定する理由	53	面積増減図
第3節 換地計画樹立の基本方針	53	道路延長増減図
1. 従前の土地の地積の基準	53	用水路延長増減図
2. 用途別予定地積	54	排水路延長増減図
3. 農用地集団化の方針	54	非農用地面積増減図
4. 非農用地の換地の方針	55	
第4節 土地の評価及び清算の方法	56	
1. 評価の方法	56	
2. 清算の方法	56	
第5節 換地計画樹立の年度計画	56	
第6節 換地処分の時期に関する特則	57	
第10章 事業費の総額及び内訳	59	
第11章 効用	60	
第12章 関連する事業	60	
第13章 現況・計画図面	60	
1. 現況平面図	60	
2. 計画平面図及び土地利用計画図	60	
3. 主要構造図	60	

第 1 章 目 的

福崎町は、兵庫県の中央部からやや南よりに位置し、播磨平野の南西部の一角を占め、東西10.1km、南北11.5km、総面積は45.79km²である。町域は市川に沿って開け、北は市川町、南は姫路市香寺町、東は加西市、西は姫路市夢前町と接しており、周辺を緑の山々で囲まれた盆地形状を示している。自然条件としては温暖で雨の少ない穏やかな瀬戸内気候に類しているが、内陸型気候の影響を若干受けており、最高気温と最低気温との温暖差が比較的大きくなっている。年降水量は1254.7mm(姫路観測所)であり、大半が春期、夏期に集中している。本地区の地形は市川及びその支流である七種川の沖積地である。付近の山の地質は、粘板岩、千枚岩、準片岩及び砂岩である。

本地区では、水稲作を主体としており、品目横断として小麦、もち麦が作付けされている。特に、もち麦は福崎町の特産物として付加価値を設けるとともに高収益作物としてキャベツの増産にも着手し、収益向上を目指す方向付けもされている。

本地区は比較的平坦な地形により稲作中心の農業が展開されているが、都市化の進展によって農地のかい廃が進行し、農業生産に対する意欲の低下が見られるようになった。また農地の資産的保有傾向が強く規模拡大志向農家や営農組合の発展は十分に行われず、農業労力の高齢化・後継者不足により、耕作放棄地や管理不十分地が増加傾向にある。

よって、この様な状況を打破する為、高岡福田地区未整備農地約47haに対しほ場整備を計画し、田畑輪換営農体系に適した汎用耕地化を図り、水稲-小麦・もち麦-黒枝豆・キャベツ・たまねぎ・ブロッコリーの輪換作業体系を確立し、収益性の高い作物での営農を可能とするとともに、農用地の集団化を図り、大型機械の導入により労働力を抑制し、労働力の軽減を図る。その結果、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体のうち、優れた経営者としての能力を身につけ、意欲を持って農業経営の発展を目指す経営体を育成し、地域農業及び農村社会の持続的な発展を図り、食料供給力の確保及び国内農業の競争力強化に資することを目的として当農地整備事業(経営体育成型)を樹立したものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農地整備事業 (経営体育成型)	神崎郡福崎町高岡、福田

第2節 地 積

(令和4年 11月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農地整備事業 (経営体育成型)	福崎町	46.3	0.5	0.6	0.4	4.3	52.1	

第 3 章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一 般 気 象

(第3表-1)

観測所名	姫路	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	1991年～2020年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(°C)		23.8	9.7	15.6	
降水量	平均(mm)	151.0	71.4	1254.7	
	基準年(mm)	539.5	480.5	1020.0	基準年:平成20年
降水日数	平均(日)	10	7	93	
	基準年(日)	50	55	105.0	基準年:平成20年
根 雪 期 間	該当なし				
無 霜 期 間	-月 -日 ~ -月 -日				
最 多 風 向	南	最 大 風 速		最大:24.5m/s	最多風向発生時期 9月 最大風速発生年月日 2004/9/7

2. 特 殊 気 象

(第3表-2)

観 測 所 名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
姫路特別地域気象観測所																
観 測 期 間	昭和14年～令和3年															
最大日雨量(mm)	294.0	S51.9.10	-	218.0	H23.9.3	1/200	208.5	H2.9.18	1/80	193.5	H27.7.17	1/30	175.6	S40.9.15	1/30	
最大時間雨量(mm)	79.0	H23.9.4	1/100	78.0	H23.9.3	1/10	70.5	S57.8.8	1/10	69.0	H29.9.17	1/10	58.5	R1.9.11	1/10	
最大4時間雨量(mm)	133.9	S40.9.15	-	121.5	H29.9.17	-	121.0	H24.6.19	-	114.5	H23.9.4	-	113.0	S62.10.17	-	
最大連続雨量(mm)	282.0	S51.9.10	-	261.5	H30.7.7	-	250.5	H23.9.4	-	225.8	S24.6.20	-	208.5	H2.9.18	-	
最大連続干天日数(日)	48.0	S41.7.18~9.3	-	40.0	S40.7.24~9.1	-	34	S41.7.12~8.14	-	33	S39.5.12~6.13	-	32	S53.7.1~8.1	-	

3. 海 象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計	最高		最低
			以下	~ 1/100	~ 1/20	~ 1/11.5	以上				8°~10°	10°~15°	8°~15°						
農地整備事業 (経営体育成型)	面積(ha)		16.2	30.0	0.1		46.3	0.5							0.5	110	71	平均傾斜 1/62	
	比率(%)	0	35	65	0	0	100	100	0	0	0	0	0	0	100				

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材	事 業 名		
	色	腐 植	礫層	酸 化 沈 降 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層			農 地 整 備 事 業 (経 営 体 育 成 型)		
					表 土 一 層	下 層 土 二 層 三 層			面積	率			
灰褐色土壌粘土質 構造マンガン型	2.5Y4/3	あり	1%、角礫あり	7~3%	SCL	SL		なし			沖積		3.4
黄褐色土壌 粘土型	2.5Y6/4	なし	30%~0% 角礫あり	10~0%	LiC	HC		〃	〃		1.7	I81	
礫層土壌 斑鉄殻層型	2.5Y4/45	あり	50%~0% 円礫あり	50~0%	LiC	SiCL		〃	〃		2.5	J90	
礫質土壌 壤土マンガン型	2.5Y3/2 2.5Y4/2	富む	0.05	30~0%	SCL	SL		〃	〃		39.2	K93	
計											46.8		

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和4年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地					山 林		探 草 放 牧 地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考	
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)						薪炭林 (ha)
農地整備事業 (経営体育成型)	福崎町	46.3	0.5	-	-	-	-	0.4	-	-	0.6	4.3	52.1	

4. 土地所有の状況

(令和4年12月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国 有	県 有	町 有	そ の 他	計	備 考
		面積 (ha)	48.0			4.1		
農地整備事業(経営体育成型)	受益者数(人)	157					157.0	
	権利関係 数(筆)	675			514		1189.0	
	権利関係 備考 (関係受益者数)	所有権・貸借権 (157戸)			所有権		(157戸)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区は、2級指定河川市川、七種川および7箇所のため池に用水源を求めている。地区内の水路はほとんど用排兼用水路で、一部は田越しかんがいを行っている所もある。用水系統は依然として複雑な利水を行っている。

(1) 用水系統

現況用水系統図参照

(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /s	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池					7	17.0	7	17.0	-	-	7	0.0687	-	
	井堰					3	26.3	3	26.3	-	-	3	0.1353	-	
	自然取入口					1	3.6	1	3.6	-	-	1	0.0155	-	
	揚水機														
	その他														
	計					11	46.9	11	46.9			11	0.2195		

(1) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模(m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	46.9	コンクリート水路	18,475 m	不明	区画整理による水路法線変更及び水の有効利用の為。	用非兼用
	その他							
	計	1	46.9					

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

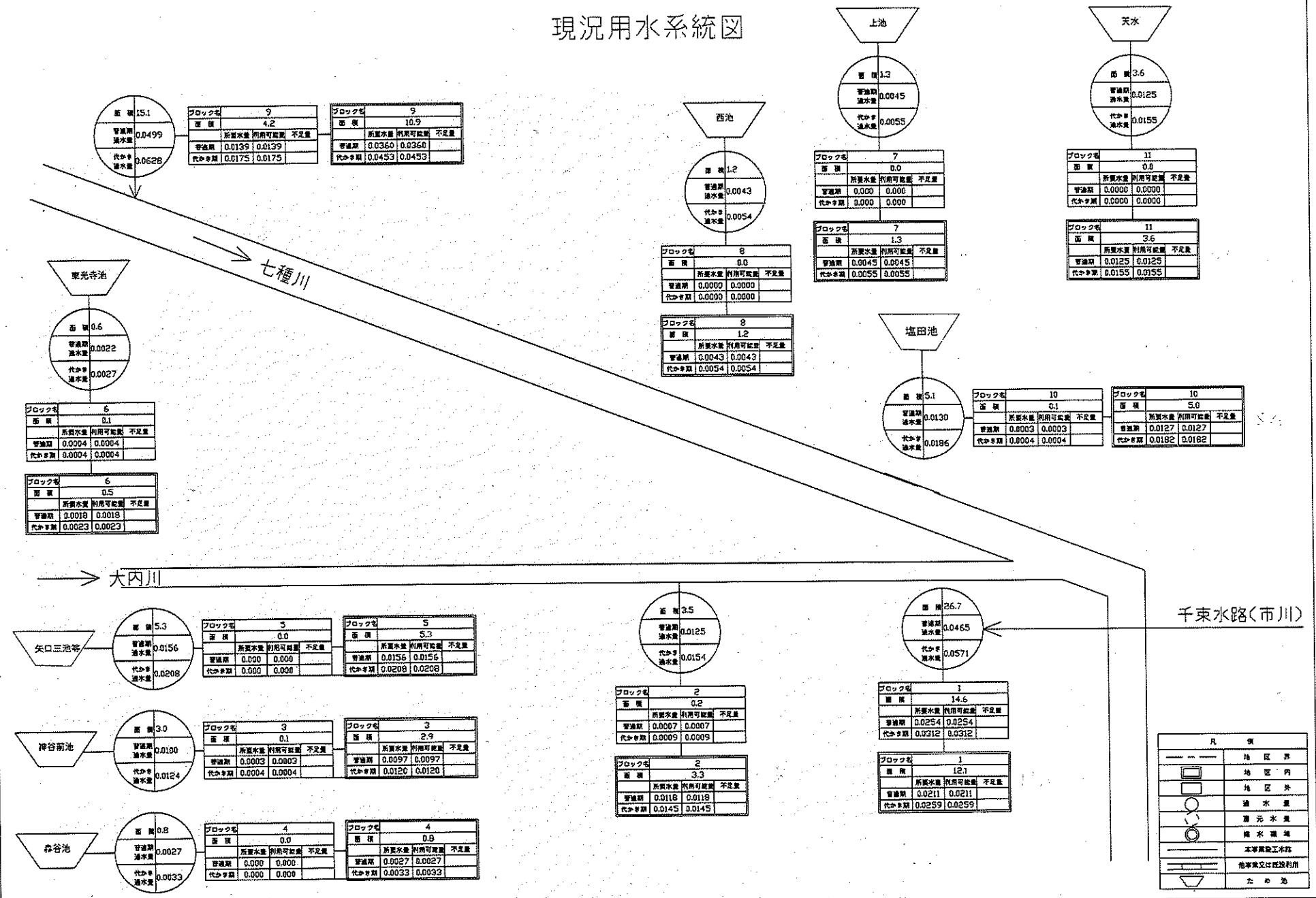
該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統

現況排水系統図参照

現況用水系統図



面積	15.1
普通期 過水率	0.0499
代か 過水率	0.0628

ブロック名	9	
面積	4.2	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0139	0.0139
代か時期	0.0175	0.0175

ブロック名	9	
面積	10.9	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0360	0.0360
代か時期	0.0453	0.0453

面積	1.2
普通期 過水率	0.0043
代か 過水率	0.0054

ブロック名	8	
面積	0.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0000	0.0000
代か時期	0.0000	0.0000

ブロック名	8	
面積	1.2	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0043	0.0043
代か時期	0.0054	0.0054

ブロック名	7	
面積	0.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.000	0.000
代か時期	0.000	0.000

ブロック名	7	
面積	1.3	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0045	0.0045
代か時期	0.0055	0.0055

ブロック名	11	
面積	0.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0000	0.0000
代か時期	0.0000	0.0000

ブロック名	11	
面積	3.6	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0125	0.0125
代か時期	0.0155	0.0155

ブロック名	6	
面積	0.1	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0004	0.0004
代か時期	0.0004	0.0004

ブロック名	6	
面積	0.5	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0018	0.0018
代か時期	0.0023	0.0023

ブロック名	10	
面積	0.1	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0004	0.0004
代か時期	0.0004	0.0004

ブロック名	10	
面積	5.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0127	0.0127
代か時期	0.0182	0.0182

面積	5.3
普通期 過水率	0.0156
代か 過水率	0.0208

ブロック名	3	
面積	0.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.000	0.000
代か時期	0.000	0.000

ブロック名	5	
面積	5.3	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0156	0.0156
代か時期	0.0208	0.0208

面積	3.0
普通期 過水率	0.0180
代か 過水率	0.0124

ブロック名	3	
面積	0.1	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0003	0.0003
代か時期	0.0004	0.0004

ブロック名	3	
面積	2.9	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0097	0.0097
代か時期	0.0120	0.0120

面積	0.8
普通期 過水率	0.0027
代か 過水率	0.0033

ブロック名	4	
面積	0.0	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.000	0.000
代か時期	0.000	0.000

ブロック名	4	
面積	0.9	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0027	0.0027
代か時期	0.0033	0.0033

面積	3.5
普通期 過水率	0.0125
代か 過水率	0.0154

ブロック名	2	
面積	0.2	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0007	0.0007
代か時期	0.0009	0.0009

ブロック名	2	
面積	3.3	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0118	0.0118
代か時期	0.0145	0.0145

面積	26.7
普通期 過水率	0.0465
代か 過水率	0.0571

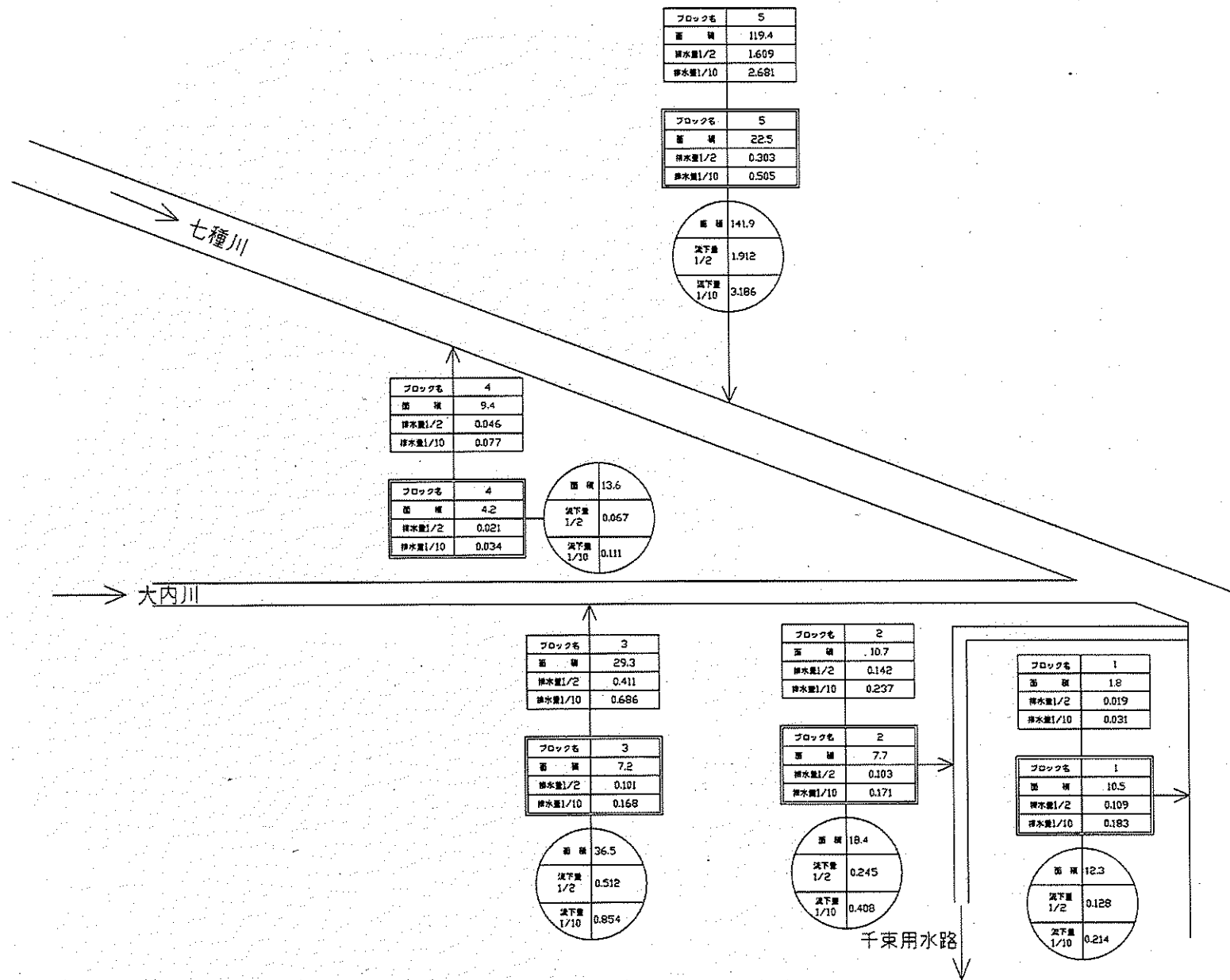
ブロック名	1	
面積	14.6	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0254	0.0254
代か時期	0.0312	0.0312

ブロック名	1	
面積	12.1	
所要水量	利用可能量	不足量
普通期	0.0211	0.0211
代か時期	0.0259	0.0259

千束水路(市川)

凡 例	
---	地区界
□	地区内
□	地区外
○	湧水泉
○	湧元水泉
○	湧水噴出
○	本等農工用水
○	他事業又は施設利用
○	ため池

現況排水系統図



ブロック名	5
面 積	119.4
排水量1/2	1.609
排水量1/10	2.681

ブロック名	5
面 積	22.5
排水量1/2	0.303
排水量1/10	0.505

面 積	141.9
決下量 1/2	1.912
決下量 1/10	3.186

ブロック名	4
面 積	9.4
排水量1/2	0.046
排水量1/10	0.077

ブロック名	4
面 積	4.2
排水量1/2	0.021
排水量1/10	0.034

面 積	13.6
決下量 1/2	0.067
決下量 1/10	0.111

ブロック名	3
面 積	29.3
排水量1/2	0.411
排水量1/10	0.686

ブロック名	3
面 積	7.2
排水量1/2	0.101
排水量1/10	0.168

面 積	36.5
決下量 1/2	0.512
決下量 1/10	0.854

ブロック名	2
面 積	10.7
排水量1/2	0.142
排水量1/10	0.237

ブロック名	2
面 積	7.7
排水量1/2	0.103
排水量1/10	0.171

面 積	18.4
決下量 1/2	0.245
決下量 1/10	0.408

ブロック名	1
面 積	1.8
排水量1/2	0.019
排水量1/10	0.031

ブロック名	1
面 積	10.5
排水量1/2	0.109
排水量1/10	0.183

面 積	12.3
決下量 1/2	0.128
決下量 1/10	0.214

凡 例	
---	地 区 界
□	地 区 内
□	地 区 外
—	本事業費工区
—	他事業又は既設利用

(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500ha以上		500~100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					箇所
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路					5	52.1	5	52.1	河川へ自然排水	-	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						5	52.1	5	52.1			

(1) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模(m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
水門									
機械	排水機								
	水門及び排水機								
	排水路及び排水機								
計			52.1			6,090m			

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
七種川	コンクリート ブロック護岸	1/200	高さ：5.2 幅：39.4	23	—	2級河川(昭和41年 全体計画より)
大内川	コンクリート ブロック護岸	1/100	高さ：2.4 幅：4.0	不明	—	普通河川

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

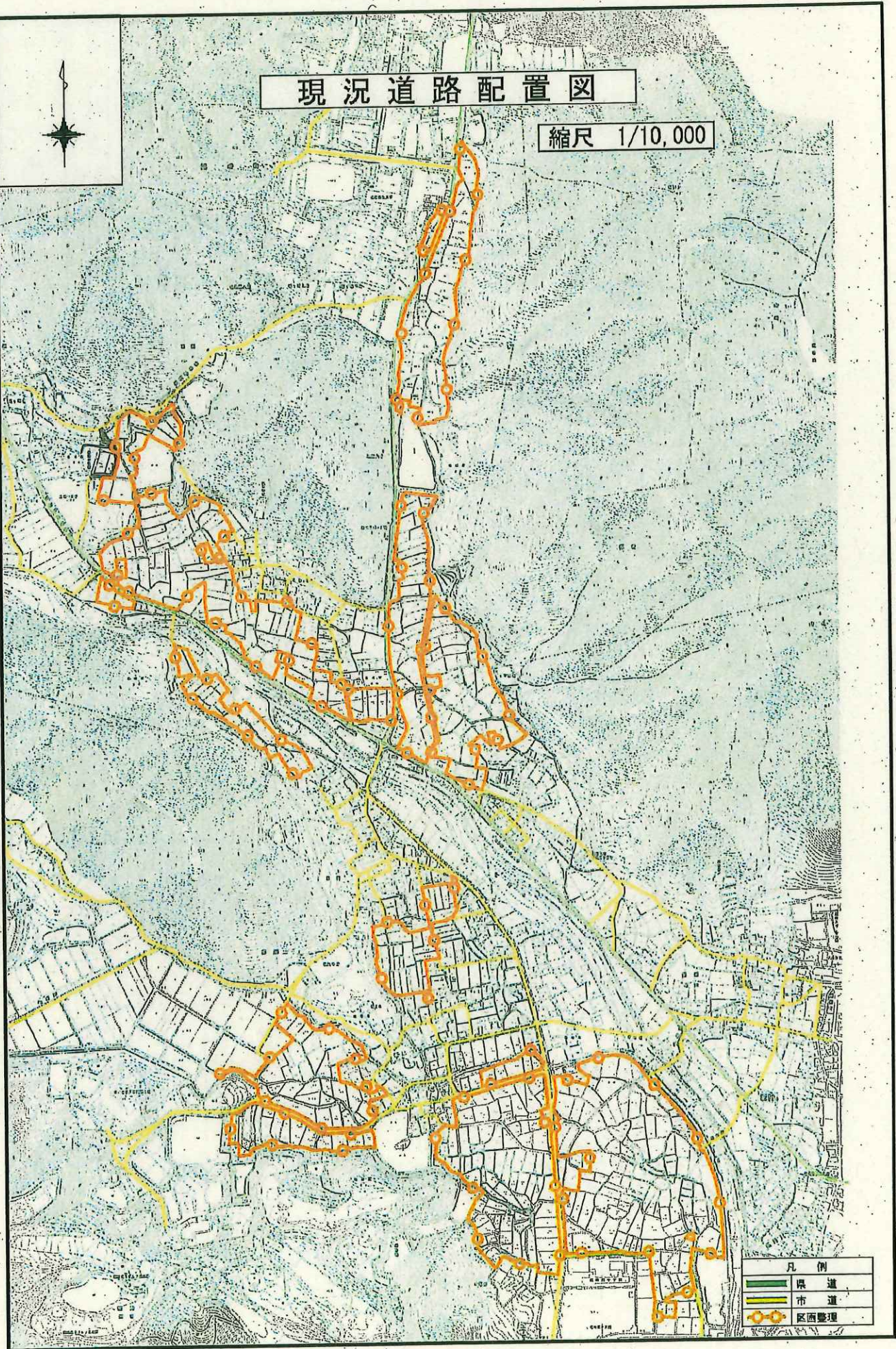
現況道路配置図参照

2. 主要道路一覧表

該当なし

現況道路配置図

縮尺 1/10,000



凡例	
	県道
	市道
	区画整理

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売小売 業飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
福崎町	9,278	194	7	1	2	548	2,805	37	638	1,276	134	81	3,033	279	243	
比率(%)	100.0	2.1	0.1	0.0	0.0	5.9	30.2	0.4	6.9	13.8	1.4	0.9	32.7	3.0	2.6	

令和2年国勢調査より

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)			備考		
		例外規定 の適用を 受ける もの	0.3 未満	0.3 ?	0.5 ?	1.0 ?	1.5 ?	2.0 ?	3.0 ?	5.0 ?	10.0 ?	20.0 以上	自給 的農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 た り 団 地 数 (戸)	団地 当 た り 面 積 (ha)	専 業		兼業	
			0.5 1.0	1.5 2.0	3.0 5.0	10.0 20.0	ha	以上	第一種	第二種															
福崎町	303		2	116	126	22	11	7	3	3	1	7	5	1.41	0.04	0.01	1.46	0	1.46	1.27	0.12	9	41	241	
比率(%)	100.0	0.0	0.7	38.3	41.5	7.3	3.6	2.3	1.0	1.0	0.3	2.3	1.7	96.6	2.7	0.7	-	0.0	100.0	-	-	3.1	14.1	82.8	

2020年農林業センサス

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜								備考		
	耕うん機 トラクター		田植機		自脱型 コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏			ブロイラー	
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(100羽)	戸数(戸)		数量(100羽)	戸数(戸)
福崎町	450	397	305	300	287	272	×	2	202	3	-	-	-	-	-	-	
100戸当たり 数量(台、頭)	113.4		101.7		105.5		-		-		-		-		-		
利用戸数 割合(%)	41.1		31.0		28.1		-		-		-		-		-		

2015年農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		福崎町			計		平均		作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)		754			754					
総本地面積 (ha)		675			675					
区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)					
田	表作	水稲	378	502	378	502	50.0			
		豆類	50	50	50	50	7.0			
		野菜類	-	-	-	-	-			
		その他	-	-	-	-	-			
	裏作	野菜類	-	-	-	-	-			
		その他	-	-	-	-	-			
小計		428		428		57.0				
畑	春夏作	野菜類	8	-	8	-	1.0			
	秋冬作	野菜類	8	-	8	-	1.0			
	小計		16		16		2.0			
樹園地	果樹		0	0	0	0	0.0			
	その他		0	0	0	0	0.0			
	小計		0		0		0.0			
計		444		444		59.0				
市町村別延べ作付率 (%)		59.0		59.0						

2010年農林業センサス

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目	農家		土地		主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考		
	B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A				
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	85	79	耕地	96	94	水稲	95	88	乳用牛	100	100	田植機	88	71	農振 S.46 野菜指定 なし	A:平成22年(2010) B:平成17年(2005) C:平成12年(2000)
	専業農家数	115	81	田	96	94	野菜	97	92	肉用牛	67	67	耕うん機	97	87		
	第一種兼業農家数	280	253	畑	100	178						コンバイン	87	72			
	第二種兼業農家数	74	57	樹園地	100	100											
	農業従事者数	81	61														
変化の理由	小規模農家への農業離れおよび他産業への流出により、農家数が減少している。一方、第1種兼業農家のみは現状維持しているが、全体的に農家数が減少している。		樹園地は、元々無い状況。農家数が減少する一方で畑地面積が増加しているのは、麦類等の加工品の栽培が盛んになった影響を受けたものと思われる。		耕地面積の減少や転作に伴い、水稲が減少した。農地の汎用化等が十分図られていないことが影響してか、野菜も減少傾向にある。			後継者不足等により肉用牛が主に減少傾向にある。			動力農機具の所有台数は、農家の減少割合と概ね同じ傾向で減少しており、共同利用などの影響もあり減少している。農作業の機械化は概ね完了している。						

2010年農林業センサス

第6節 地域環境の概況

本地域が位置する福崎町は、兵庫県の中央部からやや南寄りに位置し、中央部を清流”市川”が流れ、周囲を緑の山に囲まれた自然豊かな中核田園都市であるとともに、古くから交通の要所として栄えてきた。

本町では、これまで都市との格差是正を図るため、画一的整備による農村の都市化が進められてきた。この結果、地域環境とともに農村景観の悪化が生じ、農村らしさが失われてきている。そこで、水源を育む農地や山林等の緑資源を保全し、自然の恵みを楽しむとともに、山から田園集落、そして市街地へと続く福崎町の特徴を継承しつつ、本町の原風景をなす農村の恵まれた環境と都市的な動向との調和、すなわち、自然との共生を基調とした新たなまちづくりの展開が急務となっている。

本地区の水田及び周辺には、重要種としてドジョウ、アカハライモリ、トノサマガエル、ツチガエルが生息し、植物としてツルキンバイ、スジサイコ、カワヂシャが植生する。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

近年、農業を取りまく情勢は極めて厳しいものがあり、農家の殆どが兼業の形で農業経営に当たっているが、働き手の高齢化による労働力不足が深刻化し、農業機械設備に過剰な投資を行う不経済性に加え、耕作放棄田の増加に拍車がかかっている。

農業の生産性向上、効率かつ安定的な経営の確立を得る為に当事業を実施し、区画形質の改善、用排水路、道路等の総合的な整備、点在耕地の集団化等を図り、近代的な高性能農業機械を利用することにより、生産性の高い農業を展開する。

更に、省力化によって生ずる余剰労働力を活用して、米作偏重農業からの脱却に努め、農地の利用増進と集落営農にも積極的に取組み、新しい農業構造を構築し、多様化する食糧需要に対応すべく経営体を整える。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分	農地整備事業(経営体育成型)					備考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	計	
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	40.5	2.4	0.0		42.9	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業の競争力を強化するための方策として、温暖な気象条件と平坦な農地など有利な立地条件を生かしながら、農業の大区画化による大型機械化に取り組む農業経営を育成するために、次の事項を基本とした。

1) 生産基盤の整備

省力化のための大型機械化農業を進めるための農地・農業水利施設の整備や大型機械体系の導入による耕地利用率の向上により、生産性の高い農業を育成する。

2) 農地の流動化促進と担い手農家の育成

農地の流動化により、農業生産法人板坂営農組合、長野営農組合、桜営農組合、神谷営農組合及び個人認定農業者への農地集積・集約化を行い、農業経営の規模拡大を図る。

3) 生産者組織の育成、強化

生産技術の向上と良品質安定生産、さらに計画的な出荷を進めるため生産者組織の育成、強化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の果樹園	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成型)	現況	46.3	0.5					46.8	0.6	0.4	4.3	52.1	
	計画	40.5	2.4					42.9			9.2	52.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
農地整備事業(経営体育成型)	現	水稻	田					△-△				x-x							△-△				x-x									△-△				x-x	○:播種			
		黒枝豆	田					○-○				x-x							○-○				x-x									○-○				x-x	△:移種			
		小麦	田・畑					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○				×:収穫		
		もち麦	田					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○						
		キャベツ	田	x-x							○-○		x-x									○-○		x-x									○-○							
		たまねぎ	田					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○						
		ブロッコリー	田	x-x							○-○		x-x									○-○		x-x									○-○							
	計	水稻	田					△-△				x-x							△-△				x-x									△-△				x-x				
		黒枝豆	田					○-○				x-x							○-○				x-x									○-○				x-x				
		小麦	田・畑					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○						
		もち麦	田					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○						
		キャベツ	田	x-x							○-○		x-x									○-○		x-x									○-○							
		たまねぎ	田					x-x				○-○		x-x									○-○		x-x									○-○						
		ブロッコリー	田	x-x							○-○		x-x									○-○		x-x									○-○							

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
農地整備事業(経営体育成型)	水田	表作	水稲	20.4	18.8	△ 1.6	44	46	501	511	10	102.2	96.1	△ 6.1	△ 8.0	1.9	水管理改良
			黒枝豆	0.1	1.1	1.0		3	520	520	0	0.5	5.7	5.2	5.2	0	作付増
		裏作	小麦	7.6	11.8	4.2	16	29	218	218	0	16.6	25.7	9.1	9.1	0	作付増
			もち麦	3.2	13.0	9.8	7	32	198	198	0	6.3	25.7	19.4	19.4	0	作付増
			キャベツ	0.1	1.2	1.1		3	3,551	3,551	0	3.6	42.6	39.0	39.0	0	作付増
			たまねぎ	0.1	1.1	1.0		3	5,627	5,627	0	5.6	61.9	56.3	56.3	0	作付増
	ブロッコリー	0.1	0.5	0.4		1	1,007	1,007	0	1.0	5.0	4.0	4.0	0	作付増		
	普通畑	春夏秋冬	小麦	0.4	2.4	2.0	1	6	218	218	0	0.9	5.2	4.3	4.3	0	作付増
			計	32.0	49.9	17.9	69	123				136.7	267.9	131.2	129.3	1.9	

↑整地面積を分母として算出 ※経済効果(水張面積を分母とする)の作付率とは数値が異なる。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)			備考	
					区分	現況	計画		増減
農地整備事業(経営体育成型)	輪換田及び畑	水稲	18.8	人	33.9	13.5	△ 20.4		
				機械	26.8	7.4	△ 19.4		
		キャベツ	1.2	人	158.5	111.1	△ 47.4		
				機械	27.0	19.1	△ 7.9		
		小麦	14.2	人	20.5	3.5	△ 17.0		
				機械	13.8	3.5	△ 10.3		
		もち麦	13.0	人	20.5	3.5	△ 17.0		
				機械	13.8	3.5	△ 10.3		
		たまねぎ	1.1	人	210.0	125.7	△ 84.3		
				機械	51.0	13.6	△ 37.4		
		ブロッコリー	0.5	人	145.8	120.3	△ 25.5		
				機械	27.0	12.3	△ 14.7		
		黒枝豆	1.1	人	84.0	23.3	△ 60.7		
				機械	22.1	5.3	△ 16.8		
計	49.9								

6. 級地別土地利用区分
該当なし

7. 土地配分計画
該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

平成20年 (有効雨量 1/10、連続干天日数 1/10)

2. 計画かんがい方式

区分	かんがい式	代かき期間	かんがい期間	間断日数	備考
輪換田	たん水かんがい	5月25日～5月29日	5月25日～9月30日	—	
輪換畑	うね間かんがい	—	5月25日～5月24日	5日	

3. 計画用水系統

計画用水系統図参照

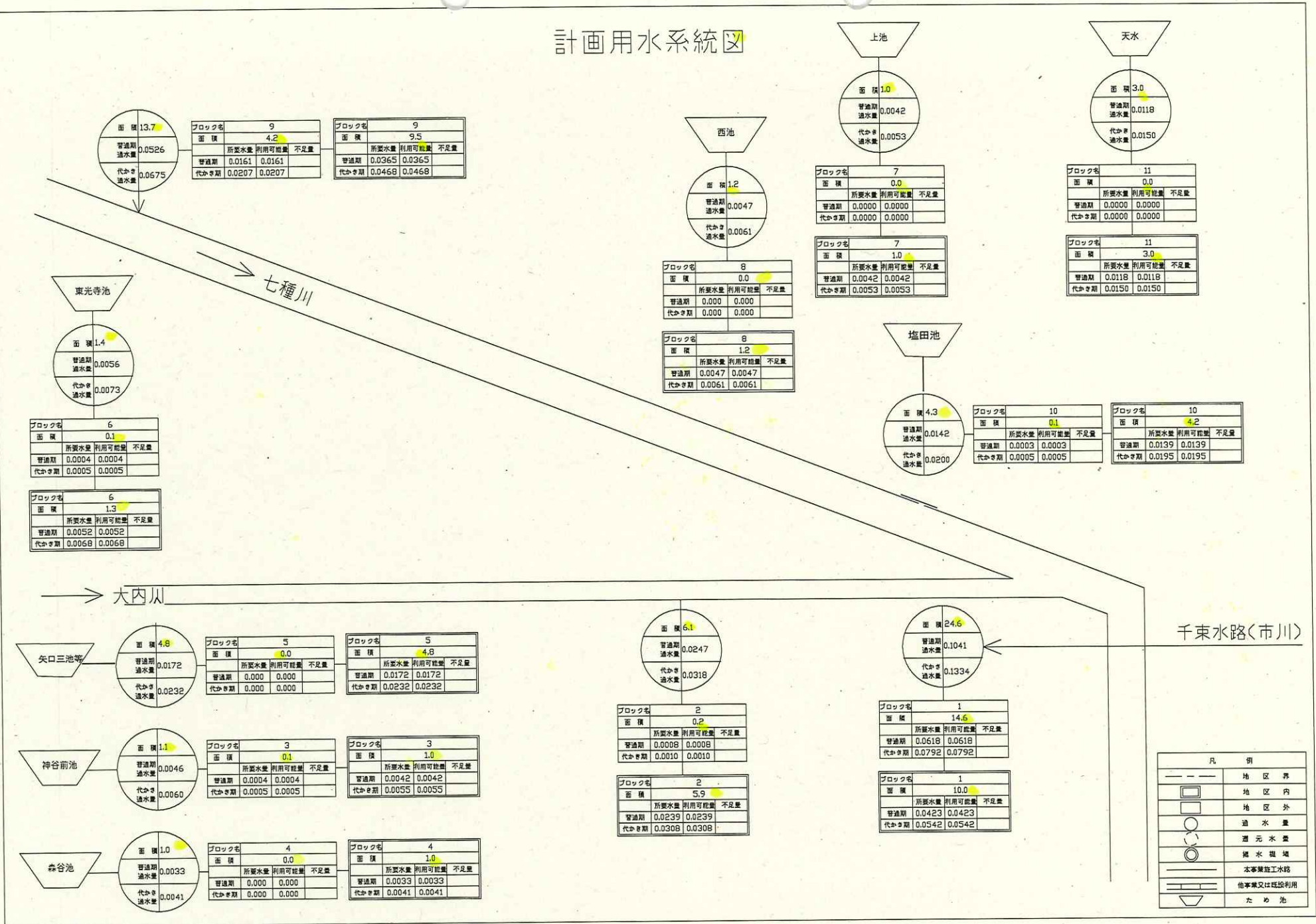
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			田畑輪換						消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
			普通期		代かき期	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい				平 均 (m³/s)	最 大 (m³/s)		
			計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 かき単 位用水 量 (mm)	普通期								代かき期	面 積 (ha)	普通期	代かき期	面 積 (ha)						
			事業名	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 かき単 位用水 量 (mm)	普通期	代かき期	面 積 (ha)	普通期	代かき期	面 積 (ha)	普通期	代かき期	面 積 (ha)	普通期	代かき期	面 積 (ha)			普通期	代かき期		面 積 (ha)
千東水路掛	農業水	10.0						5.5	5	0.5	22.3 ~ 34.7	150	4.6	5.5	5	4.9	0.101	15%	0.116	0.128	ブロック1		
大内川掛	〃	5.9						5.5	5	0.1	22.3 ~ 34.7	150	2.9	5.5	5	2.9	0.008	15%	0.009	0.010	ブロック2		
(神谷)前池掛	〃	1.0						5.5	5		22.3 ~ 34.7	150	0.5	5.5	5	0.5	0.010	15%	0.012	0.013	ブロック3		
森谷池掛	〃	1.0						5.5	5	0.3	22.3 ~ 34.7	150	0.2	5.5	5	0.5	0.003	15%	0.003	0.004	ブロック4		
矢口三池等掛	〃	4.8						5.5	5	0.1	22.3 ~ 34.7	150	2.3	5.5	5	2.4	0.013	15%	0.015	0.016	ブロック5		
東光寺池掛	〃	1.3						5.5	5		22.3 ~ 34.7	150	0.7	5.5	5	0.6	0.004	15%	0.004	0.005	ブロック6		
(桜)上池掛	〃	1.0						5.5	5		22.3 ~ 34.7	150	0.5	5.5	5	0.5	0.004	15%	0.005	0.006	ブロック7		
(桜)西池掛	〃	1.2						5.5	5		22.3 ~ 34.7	150	0.6	5.5	5	0.6	0.005	15%	0.006	0.007	ブロック8		
七種川掛	〃	9.5						5.5	5	1.2	22.3 ~ 34.7	150	3.6	5.5	5	4.7	0.040	15%	0.046	0.051	ブロック9		
塩田池掛	〃	4.2						5.5	5		22.3 ~ 34.7	150	2.1	5.5	5	2.1	0.015	15%	0.017	0.019	ブロック10		
天水掛	〃	3.0						5.5	5	0.2	22.3 ~ 34.7	150	1.3	5.5	5	1.5	0.012	15%	0.014	0.015	ブロック11		
計		42.9								2.4			19.3			21.2							

計画用水系統図



凡 例

—	地区界
□	地区内
□	地区外
○	通水量
○	遊元水量
○	揚水堰堤
—	本事業施工水路
—	他事業又は既設利用
▽	ため池

5. 水源計画

(1) 水利用計画

・有効雨量・・・・・・有効雨量は、日雨量の5mm～80mmの80%とする。

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d= $\frac{c}{(1-\alpha)}$ (千m ³)	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水 工 源 種	備 考
					水源名	取水地点利用 可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
						e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
事業名 農地整備 事業(経営 体育成型)	1,746	129	1,617	1,902	河川	1,902	1,617	0	0	-	-	-	α=0.15

(2) 用水対策

(7) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²) 直接 間接		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
			事業名						
			農地整備事業 (経営体育成型)	計					
(神谷)前池	0.09		1.0	1.0	24.3	21.0			
森谷池	0.04		1.0	1.0	3.0	3.0			
東光寺池	0.01		1.3	1.3	3.5	3.5			
(桜)上池	0.08		1.0	1.0	18.9	18.9			
(桜)西池	0.01		1.2	1.2	18.2	18.2			
塩田池	0.41		4.2	4.2	24.3	24.3			
矢口三池等	1.46		4.8	4.8	102.2	102.2			

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)	取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名	最大	平均		
			農地整備事業(経営体育成型)				
頭首工	市川	-	10.0	0.0544	0.0425	-	
頭首工	大内川	-	5.9	0.0308	0.0239	-	
頭首工	七種川	-	9.5	0.0472	0.0367	-	

(ウ) 揚水機

該当なし

名称	項目	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
	かんがい面積 (ha) 事業名 農地整備事業(経営体育成型)				
支用1号	0.67	0.0526	0.184	UF400	
支用2号		0.0200	0.058	UF250	
支用3号	2.02	0.0491	0.305	UF350	
支用4号	1.00	0.0224	0.223	VU250、VU200、VU150、VU125、VU75	
支用5号	0.36	0.0523	0.118	UF400	
支用6号	1.90	0.0477	0.435	VU250、VU200、VU150、VU125	
支用7号	1.05	0.0271	0.437	VU200、VU150、VU125	
支用8号	1.18	0.0492	0.240	VU300、VU250、VU200	
支用9号		0.0239			
支用10号	0.16	0.0136	0.236	VU150、VU125	
支用11号	0.75	0.0645	0.431	VU300、VU250	
支用12号		0.0020	0.048	VU125、UF200	
支用13号	0.24	0.0092	0.054	UF250	
支用14号	0.79	0.0501	0.124	VU300、VU200	
支用15号		0.0131	0.143	VU150	
支用16号	0.85	0.0299	0.065	VU200、VU150、VU125	
支用17号	0.02	0.0025	0.056	VU125	
支用18号	0.52	0.0102	0.014	VU125、VU150	
支用19号	0.79	0.0239	0.119	VU200、VU150、VU125	
支用20号		0.0106	0.151	VU300	
支用21号		0.0498	0.156	VU300、VU250、VU200	
支用22号	0.49	0.0112	0.055	VU125	
支用23号		0.0259	0.090	VU150、VU125	
支用24号		0.0277	0.197	VU250、VU200	
支用25号		0.0277	0.148	VU150、VU125	
支用26号		0.0214		UF250	
支用27号		0.0323	0.177	HP300、BF300	
支用27-1号		0.0016	0.077	BF300	
支用28号	1.03	0.0709	0.219	VU350、VU300	
支用29号	2.44	0.0597	0.352	VU300、VU200	
支用30号	0.61	0.0118	0.131	VU150	
支用31号	1.88	0.0541	0.264	VU300、VU250、VU200	
支用32号	1.04	0.0198	0.078	VU200、VU125	
支用33号	0.92	0.0229	0.139	VU200、VU125、VU100	
支用34号	2.01	0.0448	0.396	VU250、VU200、VU150、VU125	
支用35号	0.77	0.0480	0.270	VU250、VU200	
支用36号	0.89	0.0170	0.042	VU150、VU125	
支用37号	0.32	0.0140	0.252	VU150、VU125	
支用38号		0.0160	0.003	VU150	
支用39号	0.52	0.0143	0.133	VU150、VU125	
支用40号	0.25	0.0017	0.057	VU125	
支用41号			0.049	VU75	
支用42号		0.1489	0.335	(B)900×(H)600	
支用43号		0.0067	0.023	UF250	
合計	25.47		7.082		

名称	項目	かんがい面積 (ha)		最大通水量 (m^3/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
		事業名	農地整備事業(経営体育成型)				
VU75					0.084		トンネルその他
VU100					0.030		トンネルその他
VU125					1.105		トンネルその他
VU150					1.376		トンネルその他
VU200					0.801		トンネルその他
VU250					1.116		トンネルその他
VU300					1.143		トンネルその他
VU350					0.077		トンネルその他
UF200					0.019		開きよ
UF250					0.135		開きよ
UF350					0.305		開きよ
UF400					0.302		開きよ
BF300					0.238		開きよ
HP300					0.016		トンネルその他
(B)900×(H)600					0.335		開きよ
合計					7.082		

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

かんがい用水として利用するうえで支障はない。

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量	159 mm/日	(1/10年確率)		
基幹排水	時間雨量強度	46mm/hr	4時間雨量強度	20mm/4hr
末端排水	時間雨量強度	46mm/hr	4時間雨量強度	20mm/4hr

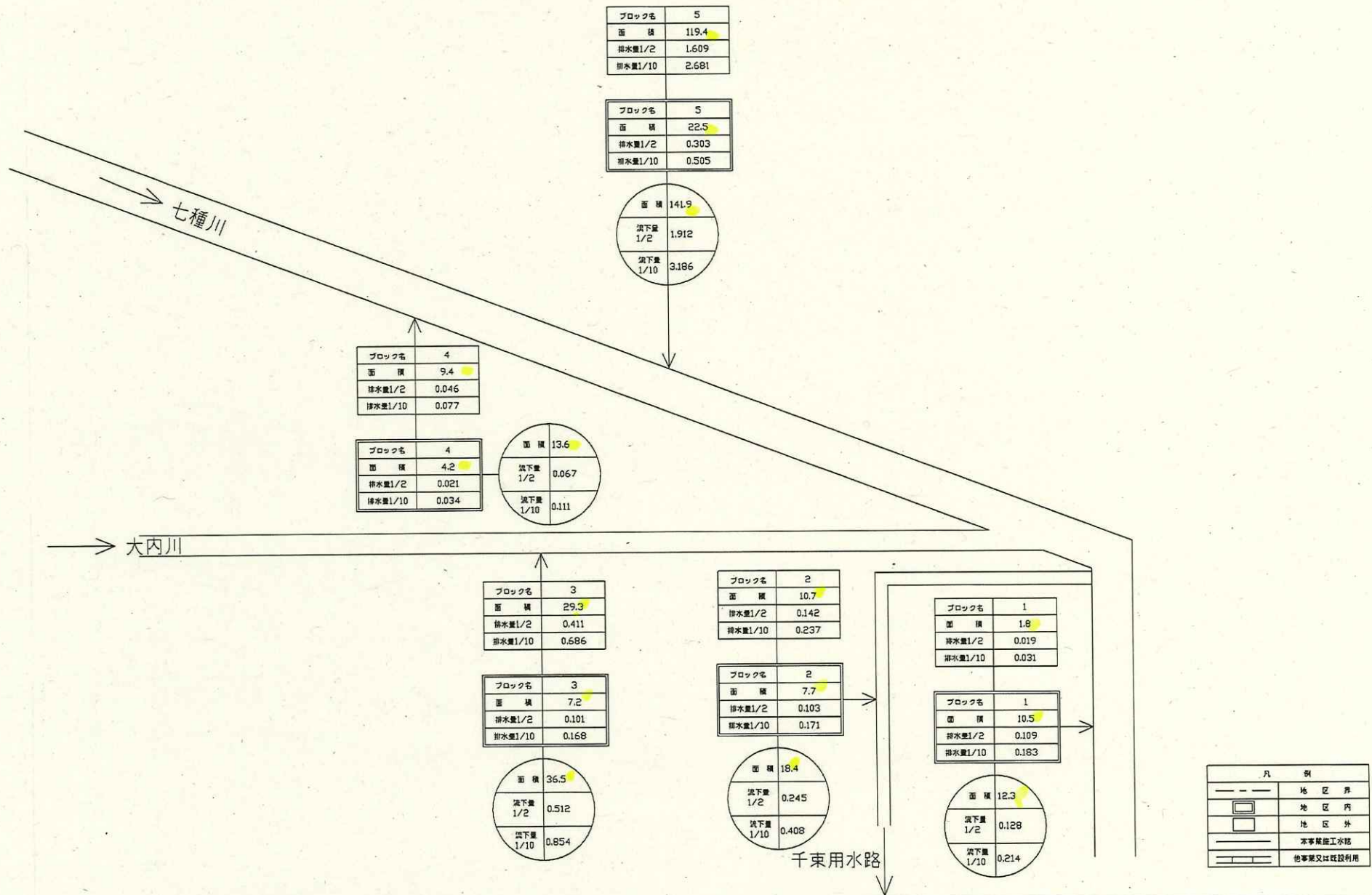
2. 計画排水方式

自然排水

3. 計画排水系統

計画排水系統図参照

計画排水系統図



4. 計 画 排 水 量

(第11表-1)

排水 項目 系統名	受益面積 (ha)	流域面積		基 雨 準 量 (mm)	降雨による 直接単位流出量		基底流出量		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量		備考
	事業名	(km ²)			(m ³ /s/km ²)		(m ³ /s/km ²)		山 地	平 地		(m ³ /s/km ²)		
	農地整備事業(経営体育成型)	山	地 平 地		山 地	平 地	山 地	平 地		自然排水	機械排水	山 地	平 地	
七種川 (ブロック1)	10.5	0.02	0.10	159	2.500	1.640	-	-	0.050	0.164	-	2.500	1.640	
七種川 (ブロック2)	7.7	0.11	0.08	159	2.455	1.725	-	-	0.270	0.138	-	2.455	1.725	
七種川 (ブロック3)	7.2	0.27	0.10	159	2.556	1.640	-	-	0.690	0.164	-	2.556	1.640	
七種川 (ブロック4)	4.2	0.12	0.02	159	0.800	0.750	-	-	0.096	0.015	-	0.800	0.750	
七種川 (ブロック5)	22.5	1.19	0.23	159	2.286	2.026	-	-	2.720	0.466	-	2.286	2.026	
計	52.1	1.71	0.53	-	-	-	-	-	3.826	0.947	0.00	-	-	

↑ 地区面積

5. 排 水 対 策

(1) 排 水 水 門

該当なし

(2) 排 水 機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地整備事業(経営体育成型)								
支排1号	97.08	8.78		2.486	0.306	3AP900×2500				1工区
支排2号	71.59	5.96		1.846	0.432	3AP900×2000、L型600×2000、BF250				1工区
支排3号	3.91	0.19		0.114	0.073	BF350				1工区
支排4号	9.37	0.57		0.247	0.233	BF500、BF250				1工区
支排5号	7.41	0.41		0.193	0.055	BF450				2-1工区
支排6号	2.94	0.34		0.073	0.074	BF300				2-1工区
支排7号	9.12	3.61		0.070	0.278	VU200				3-1工区
支排8号	1.96	1.60		0.042	0.182	BF250(パッキン付)				3-1工区
支排9号	13.69	2.46		0.342	0.097	BF550(パッキン付)				3-1工区
支排10号	2.11	1.72		0.045	0.295	BF250				4-1工区
支排11号	10.22	6.09		0.246	0.302	BF500				4-1工区
支排12号	3.80	2.26		0.105	0.469	BF350				2-2工区
支排13号	4.25	1.93		0.095	0.235	BF350				2-2工区
支排14号	3.60	1.57		0.081	0.079	BF300				3-2工区
支排15号	3.52	1.57		0.079	0.250	BF300、BF250				3-2工区
支排16号	6.04	6.04		0.117	0.298	VU250、VU200、VU150				5工区
支排17号	4.57	1.13		0.117	0.108	BF350				5工区
支排18号	20.90	5.58		0.548	0.338	3AP500×600、BF300				5工区
支排20号	1.34	1.33		0.027	0.124	BF250				5工区
支排21号	0.23	0.23		0.004	0.110	BF300、BF250				5工区
支排22号	0.73	0.37		0.018	0.072	BF250				5工区
支排23号	2.68	1.25		0.064	0.218	BF250				8工区
支排26号	16.91	16.44		0.333	0.006	B900×H700				7工区
支排27号	9.35	8.88		0.186	0.356	VU350				7工区
支排28号	7.56	7.56		0.147	0.379	VU350、VU300、VU250				7工区
支排29号	0.75	0.75		0.015	0.128	VU200				7工区
支排30号	0.64	0.64		0.012	0.097	VU200、BF250				7工区
支排31号	2.32	2.32		0.045	0.214	VU250、VU200				7工区
支排32号	0.15	0.04		0.004	0.122	UF200				7工区
支排33号	6.06	5.70		0.122	0.090	UF500				7工区
支排34号	4.46	4.46		0.087	0.020	VU300、VU250				6工区
支排35号	2.99	2.03		0.065	0.266	BF250				6工区
支排36号	8.49	0.14		0.247	0.314	BF500				6工区
支排37号	0.29			0.007	0.065	BF250				6工区

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川		備 考	
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)		計画洪水位 (m)
		農地整備事業(経営体育成型)								
支排38号	0.45			0.014	0.093	BF250			6工区	
支排39号	4.95	0.98		0.119	0.422	角フユ-M400、角フユ-M350			4-2工区	
支排40号	6.32	0.76		0.154	0.055	角フユ-M450			4-2工区	
1号小排水	0.08			0.002	0.040	U型側溝(トラフ300A)			2-2工区	
田35					0.046	VU150			6工区	
既設水路等		4.35								
計	352.83	110.04		—	7.340					

(4) そ の 他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第8節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅 (有効 m)	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
1号支線		4.0(3.0)	×	0.570	敷砂利舗装		
2号支線		4.0(3.0)	×	0.139	敷砂利舗装		
3号支線		4.0(3.0)	×	0.126	敷砂利舗装		
4号支線		4.0(3.0)	×	0.590	敷砂利舗装		
5号支線		4.0(3.0)	×	0.084	敷砂利舗装		
6号支線		4.0(3.0)	×	0.057	敷砂利舗装		
7号支線		4.0(3.0)	×	0.280	敷砂利舗装		
8号支線		4.0(3.0)	×	0.292	敷砂利舗装		
9号支線		4.0(3.0)	×	0.195	敷砂利舗装		
10号支線		4.0(3.0)	×	0.269	敷砂利舗装		
11号支線		4.0(3.0)	×	0.182	敷砂利舗装		
12号支線		4.0(3.0)	×	0.143	敷砂利舗装		
13号支線		4.0(3.0)	×	0.205	敷砂利舗装		
1号通作道		3.0(2.5)	×	0.098	敷砂利舗装		
2号通作道		3.0(2.5)	×	0.069	敷砂利舗装		
14号支線		4.0(3.0)	×	0.269	敷砂利舗装		
15号支線		4.0(3.0)	×	0.075	敷砂利舗装		
16号支線		4.0(3.0)	×	0.195	敷砂利舗装		
17号支線		4.0(3.0)	×	0.041	敷砂利舗装		
18号支線		4.0(3.0)	×	0.366	敷砂利舗装		
19号支線		4.0(3.0)	×	0.024	敷砂利舗装		
20号支線		5.0(4.0)	×	0.328	敷砂利舗装		
21号支線		4.0(3.0)	×	0.086	敷砂利舗装		
22号支線		4.0(3.0)	×	0.029	敷砂利舗装		
23号支線		4.0(3.0)	×	0.296	敷砂利舗装		
24号支線		4.0(3.0)	×	0.325	敷砂利舗装		
25号支線		4.0(3.0)	×	0.130	敷砂利舗装		
26号支線		4.0(3.0)	×	0.501	敷砂利舗装		
27号支線		4.0(3.0)	×	0.121	敷砂利舗装		
28号支線		4.0(3.0)		0.175	敷砂利舗装		
29号支線		4.0(3.0)		0.117	敷砂利舗装		
30号支線		4.0(3.0)		0.222	敷砂利舗装		
31号支線		4.0(3.0)		0.137	敷砂利舗装		
32号支線		4.0(3.0)		0.484	敷砂利舗装		
1号通作道		3.0(2.5)		0.081	敷砂利舗装		
2号通作道		3.0(2.5)		0.284	敷砂利舗装		
3号通作道		3.0(2.5)		0.055	敷砂利舗装		
4号通作道		3.0(2.5)		0.056	敷砂利舗装		
5号通作道		3.0(2.5)		0.066	敷砂利舗装		
6号通作道		3.0(2.5)		0.038	敷砂利舗装		
7号通作道		3.0(2.5)		0.019	敷砂利舗装		
8号通作道		3.0(2.5)		0.037	敷砂利舗装		
計				7.857			

(2) 索道

該当なし

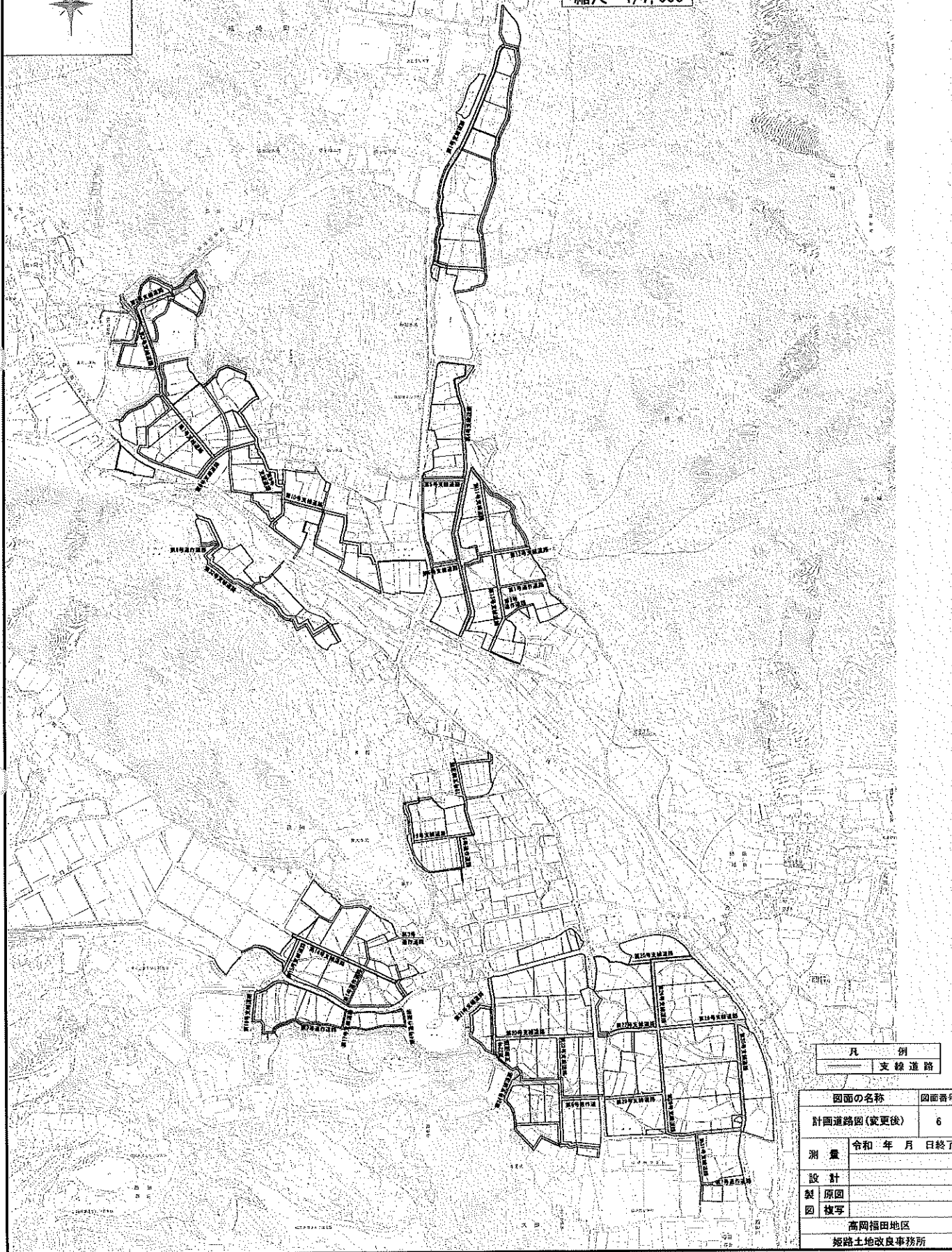
2. 路線配置図

計画道路配置図参照

農地整備事業(経営体育成型) 高岡福田地区

計画道路図(変更後)

縮尺 1/7,000



凡 例	
	支線道路

図面の名称	図面番号
計画道路図(変更後)	6
測 量	令和 年 月 日終了
設 計	
製 原 図	
図 複 写	
高岡福田地区 姫路土地改良事務所	

第 6 節 農用地造成計画

該当なし

第 7 節 洪水調節計画

該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
50 × 100	0.50	17.3	40	0.05~1.0	水田(50a以上)
30 × 100	0.30	19.1	44	0.05~2.0	水田(30a以上50a未満)
20 × 100	0.20	4.1	10	0.05~3.0	水田(30a未満)
-	-	2.4	6	-	畑
計		42.9			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
34.0	地力保全	15	51,000	礫質土壌 壤土マンガン型 K93
2.9	地力保全	15	4,350	灰褐色土壌 粘土質構造マンガン型 G61
1.5	地力保全	15	2,250	黄褐色土壌 粘土型 I81
2.1	地力保全	15	3,150	礫質土壌 斑鉄盤層型 J90
2.4	地力保全	15	3,600	灰色土壌 壤土マンガン型 K93
(計) 42.9				

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	受益面積 (ha)		土壌統(区分)	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (% $\frac{1}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
	事業名	計						
	農地整備事業 (経営体育成型)							
本暗渠	18.3	18.3	礫質土壌壤土マンガン型等	50	5.79	0.5	自然排水	
計	18.3	18.3						

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

獣害防護柵位置図

S=1 : 10,000



凡 例		
物件名	設色	数量
獣害防護柵(事業対象)	——	2930 m
柵 獣害防護柵(設置済)	——	5470 m
獣害防護柵(127年度設置)	——	750 m
獣害防護柵(地元設置)	——	1200 m

図面の名称	図面番号
獣害防護柵位置図	18
測 量	令和 年 月 日終了
設 計	
製 原 図	
図 複 写	
高岡福田地区	
姫路土地改良事務所	

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネルその他	計				
	農地整備事業(経営体育成型)									
支用1号	0.67		0.0526	0.184		0.184	UF400			
支用2号			0.0200	0.058		0.058	UF250			
支用3号	2.02		0.0491	0.305		0.305	UF350			
支用4号	1.00		0.0224		0.223	0.223	VU250、VU200、VU150、VU125、VU75			
支用5号	0.36		0.0523	0.118		0.118	UF400			
支用6号	1.90		0.0477		0.435	0.435	VU250、VU200、VU150、VU125			
支用7号	1.05		0.0271		0.437	0.437	VU200、VU150、VU125			
支用8号	1.18		0.0492		0.240	0.240	VU300、VU250、VU200			
支用9号			0.0239							
支用10号	0.16		0.0136		0.236	0.236	VU150、VU125			
支用11号	0.75		0.0645		0.431	0.431	VU300、VU250			
支用12号			0.0020	0.019	0.029	0.048	VU125、UF200			
支用13号	0.24		0.0092	0.054		0.054	UF250			
支用14号	0.79		0.0501		0.124	0.124	VU300、VU200			
支用15号			0.0131		0.143	0.143	VU150			
支用16号	0.85		0.0299		0.065	0.065	VU200、VU150、VU125			
支用17号	0.02		0.0025		0.056	0.056	VU125			
支用18号	0.52		0.0102		0.014	0.014	VU125、VU150			
支用19号	0.79		0.0239		0.119	0.119	VU200、VU150、VU125			
支用20号			0.0106		0.151	0.151	VU300			
支用21号			0.0498		0.156	0.156	VU300、VU250、VU200			
支用22号	0.49		0.0112		0.055	0.055	VU125			
支用23号			0.0259		0.090	0.090	VU150、VU125			
支用24号			0.0277		0.197	0.197	VU250、VU200			
支用25号			0.0277		0.148	0.148	VU150、VU125			
支用26号			0.0214							
支用27号			0.0323	0.161	0.016	0.177	HP300、BF300			
支用27-1号			0.0016	0.077		0.077	BF300			
支用28号	1.03		0.0709		0.219	0.219	VU350、VU300			
支用29号	2.44		0.0597		0.352	0.352	VU300、VU200			
支用30号	0.61		0.0118		0.131	0.131	VU150			
支用31号	1.88		0.0541		0.264	0.264	VU300、VU250、VU200			
支用32号	1.04		0.0198		0.078	0.078	VU200、VU125			
支用33号	0.92		0.0229		0.139	0.139	VU200、VU125、VU100			
支用34号	2.01		0.0448		0.396	0.396	VU250、VU200、VU150、VU125			
支用35号	0.77		0.0480		0.270	0.270	VU250、VU200			
支用36号	0.89		0.0170		0.042	0.042	VU150、VU125			
支用37号	0.32		0.0140		0.252	0.252	VU150、VU125			
支用38号			0.0160		0.003	0.003	VU150			
支用39号	0.52		0.0143		0.133	0.133	VU150、VU125			
支用40号	0.25		0.0017		0.057	0.057	VU125			
支用41号					0.049	0.049	VU75			
支用42号			0.1489	0.335		0.335	(B) 900 × (H) 600			
支用43号			0.0067	0.023		0.023	UF250			
合計	25.47		-	1.334	5.748	7.082				

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネルその他	計				
	農地整備事業(経営体育成型)									
VU75				0.084	0.084					
VU100				0.030	0.030					
VU125				1.105	1.105					
VU150				1.376	1.376					
VU200				0.801	0.801					
VU250				1.116	1.116					
VU300				1.143	1.143					
VU350				0.077	0.077					
UF200				0.019	0.019					
UF250				0.135	0.135					
UF350				0.305	0.305					
UF400				0.302	0.302					
BF300				0.238	0.238					
HP300					0.016	0.016				
(B)900×(D)800				0.335	0.335					
合計				1.334	5.748	7.082				

5. その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネルその他	計				
	農地整備事業(経営体育成型)									
支排1号	1.76		5.716	0.306		0.306	3AP900×2500			
支排2号	1.05		4.242	0.432		0.432	3AP900×2000、L型600×2000、BF250			
支排3号	0.16		0.114	0.073		0.073	BF350			
支排4号	0.04		0.247	0.233		0.233	BF500、BF250			
支排5号	0.25		0.193	0.055		0.055	BF450			
支排6号	0.15		0.073	0.074		0.074	BF300			
支排7号	2.99		0.031		0.278	0.278	VU200			
支排8号			0.042	0.182		0.182	BF250(バッキン無)			
支排9号			0.342	0.097		0.097	BF550(バッキン無)			
支排10号	1.30		0.045	0.295		0.295	BF250			
支排11号	1.31		0.246	0.302		0.302	BF500			
支排12号	1.90		0.105	0.469		0.469	BF350			
支排13号	1.60		0.095	0.235		0.235	BF350			
支排14号			0.081	0.079		0.079	BF350、BF300			
支排15号			0.079	0.250		0.250	BF300、BF250			
支排16号	3.34		0.049		0.298	0.298	VU250、VU200、VU150			
支排17号	1.15		0.117	0.108		0.108	BF350			
支排18号	1.62		0.548	0.338		0.338	3AP500×600、BF250			
支排20号	1.32		0.027	0.124		0.124	BF250			
支排21号	0.18		0.004	0.110		0.110	BF250			
支排22号	0.14		0.018	0.072		0.072	BF250			
支排23号	1.27		0.064	0.218		0.218	BF250			
支排26号	0.43		0.333	0.006		0.006	B900×H700			
支排27号	2.92		0.186		0.356	0.356	VU350			
支排28号	3.57		0.147		0.379	0.379	VU350、VU300			
支排29号	0.61		0.015		0.128	0.128	VU200			
支排30号	0.45		0.012	0.043	0.054	0.097	VU200、BF250			
支排31号	2.11		0.045		0.214	0.214	VU250、VU200			
支排32号			0.004	0.122		0.122	UF200			
支排33号	1.21		0.122	0.090		0.090	UF500			
支排34号	4.00		0.087		0.020	0.020	VU300			
支排35号	1.44		0.065	0.266		0.266	BF250			
支排36号	0.32		0.247	0.314		0.314	BF500			
支排37号			0.007	0.065		0.065	BF250			
支排38号			0.014	0.093		0.093	BF250			
支排39号				0.422		0.422				
支排40号				0.055		0.055				
1号小排水			0.002	0.040		0.040	U型側溝(トラフ300A)			
田35					0.046	0.046	VU150			
既設水路等	4.35									
計	42.9			5.567	1.773	7.340				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 路線名	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急 こう配(%)	同左の 延長(m)	最小曲線 半径(m)	備 考
				名 称	構 造	数 量(箇所)				
支線道路	20号支線	5.0 (4.0) × 0.328	敷砂利舗装				8	-	-	流用土
支線道路	1号支線, 2号支線, 3号支線, 4号支線, 5号支線, 6号支線, 7号支線, 8号支線, 9号支線, 10号支線, 11号支線, 12号支線, 13号支線, 14号支線, 15号支線, 16号支線, 17号支線, 18号支線, 19号支線, 21号支線, 22号支線, 23号支線, 24号支線, 25号支線, 26号支線, 27号支線, 28号支線, 29号支線, 30号支線, 31号支線, 32号支線	4.0 (3.0) × 6.726	敷砂利舗装				8	-	-	流用土
通作道路	1号通作道, 2号通作道, 1号通作道, 2号通作道, 3号通作道, 4号通作道, 5号通作道, 6号通作道, 7号通作道, 8号通作道	3.0 (2.5) × 0.803	敷砂利舗装				8	-	-	流用土
計		7.857								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
高岡福田地区	36.4	50×100 30×100	a	36.4	54,600	水田(30a以上)
	4.1	20×100	a	4.1	6,150	水田(30a未満)
	2.4	-	a	2.4	3,600	畑

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区 分	面 積		集 水 渠				排 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			備 考	
	事 業 名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
	農地整備事業 (経営体育成型)															
本 暗 渠	18.3	18.3	1/500	塩ビ管	φ100	50	1/500	ポリエチレン有蓋管	φ65	0.5~0.7	10	950	排水路	BF	-	
計	18.3	18.3														

該当なし

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 除 礫

該当なし

5. 農 地 保 全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

獣害防護柵 配置図は獣害防護柵配置図参照

項目 名称	位置	延長 (km)	構造		備考	
			幅(m)	高さ(m)		
獣害防護柵	福崎町高岡	2.93	パネル式ワイヤメッシュフェンス	2.2	2.0	

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工事の着手及び完了の予定時期

着手 平成 30 年 10 月

完了 令和 8 年 3 月

2. 工程表

年度		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工程	実施設計								
	整地工								
	道路工								
	用水路工								
	排水路工								
	獣害防護柵								

第8章 環境との調和への配慮

1.基本方針

高岡福田地区は、神戸医療福祉大学や福崎西中学校があり、県道田口福田線、県道前之庄市川線その他幹線町道を介して集落間が結ばれており、行き交う人の目に触れる田園があり、福崎町農村環境計画では高生産基盤ゾーンに区分されているので、農村環境の保全、景観形成をめざす「都市と農村の調和のとれた誰も活気に満ちた発展する田園都市」と設定している。

2.当該地域の生態系の現況

【植物】161種、【貝類】カワニナ、シジミsp、【甲殻類】カイエビ、ホウネンエビ、ミナミヌマエビ、スジエビ、サワガニ、

【昆虫類】コオニヤンマ、オニヤンマ、コムズムシ、マツモムシ、トビゲラsp、ハイイロゲンゴロウ、◎コガムシ、

【魚類】◎ドジョウ、ブルーギル、ドンコ、トウヨシノボリ、【両生類】◎アカハライモリ、◎トノサマガエル、◎ツチガエル、【は虫類】クサガメ

3.当該地区における環境配慮の方法

- ・ドジョウ、アカハライモリなどの貴重な魚類、両生類を保全するため、水量の少ない時にも生息可能となる柵を設置する。
- ・トノサマガエル、ツチガエルなどの貴重な両生類を保全するため、水辺と陸上の段差を軽減するため、水路に斜路を設置する。
- ・植物の重要種については、施工前に地区内の同等の環境に移植を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画では、客観的な判断基準に基づく換地設計と土地評価が必要であり、これらは地域の特性を考慮した換地設計基準及び土地評価基準を定め、これらに基づいて農用地の集団化等農業構造の改善に資するよう換地計画を作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
北工区	神崎郡福崎町	24.1
南工区	神崎郡福崎町	28.0

2. 換地区を設定する理由

北工区及び南工区の従前地の評価額の差及び減歩率の差により、換地工区を2つに分ける。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
北工区 及び 南工区	<p>(1) 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画認可の日の登記簿地積を採用する。ただし、土地改良事業計画確定の日から6か月以内に土地家屋調査士又は測量士の測量した実測図及び隣接所有者の立会証明を添付して申出があった場合は、その申出の地積を採用する。</p> <p>(2) すでに買収又は寄付による道路・水路敷地等で、所有権移転登記が未了の土地は、その土地の所有者の同意を得て、従前地の地積の対象としない。</p>

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地			一般 国 公 有 地	総 合 計				
		田	畑	山林 ・ 原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地				合計	国			県	市町村 他	合計	
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公用施設用地	宅地等								計
北工区	従前の土地	21.6	0.3	0.1	0.0						22.0					22.0	0.0	0.1	0.1	0.1					0.2			1.9	1.9	24.1
	換地	17.0	1.4								18.4	3.5		3.5		21.9	0.0	0.1	0.1	0.1			0.1		0.1	0.3			1.9	1.9
南工区	従前の土地	24.6	0.2	0.7	0.1						25.6					25.6		0.1	0.1	0.0					0.1			2.3	2.3	28.0
	換地	23.5	1.0								24.5	1.1		1.1		25.6		0.1	0.1	0.0	0.0				0.1			2.3	2.3	28.0
全区	従前の土地	46.2	0.5	0.8	0.1						47.6					47.6	0.0	0.2	0.2	0.1					0.3			4.2	4.2	52.1
	換地	40.5	2.4								42.9	4.6		4.6		47.5	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0			0.1	0.1	0.4			4.2	4.2

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
北工区 及び 南工区	地目別集団化 従前地の用途が畑・山林・原野・雑種地等から造成される畑は、事業計画に定められた区域内で集団化する。	各農家毎に従前地の最大団地の指す新区画を優先区画とする。また、他の者に優先換地した結果、その位置から離れる場合は、後順位最大団地の示す区画または隣接区画を換地する。	集団化率 (北) $\frac{P-Q}{P-N} \times 100 = \frac{170-106}{170-70} \times 100 = 64.0\%$ 1戸当たりの目標団地数はおおむね1.51団地を目標とする。 (南) $\frac{P-Q}{P-N} \times 100 = \frac{216-131}{216-91} \times 100 = 68.0\%$ 1戸当たりの目標団地数はおおむね1.44団地を目標とする。	畦畔は固定畦畔とする。また、分割田は利用集積のため原則として畦畔は設けず、境界杭のみとする。

4. 非農用地の換地の方針

(第25表-5)

区分	非農用地番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他	
北工区	非-4	分家住宅	神崎郡福崎町高岡字岸ノ下	(499.00) 500.00	異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	非-5	住宅用地	神崎郡福崎町高岡字梨ノ木	(180.00) 180.00	異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	非-6	営農倉庫	神崎郡福崎町高岡字梨ノ木	- 90.00	異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	非-7	宅地	神崎郡福崎町高岡字大谷	(811.00)	特定用途用地換地	従前所有者		
	非-8	河川	神崎郡福崎町高岡字川端	(190.00) 190.00	不換地・特別減歩見合い 創設換地	福崎町	計画面積190㎡ 予定用途に供する時期 創設面積190㎡ 令和8年度 事業主体 福崎町	
	非-9	住宅用地	神崎郡福崎町高岡字梨ノ木	- 90.00	異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	非-10	原野	神崎郡福崎町高岡字川端	(1,429.00) 1,430.00	特定用途用地換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	非-11	県道	神崎郡福崎町高岡字苗代田	(650.00) 650.00	不換地・特別減歩見合い 創設換地	兵庫県	計画面積650㎡ 予定用途に供する時期 創設面積650㎡ 令和8年度 事業主体 兵庫県	
	非-2	農業用倉庫	神崎郡福崎町高岡字前田	(600.00) 600.00	異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者	
	南工区	非-3	営農倉庫	神崎郡福崎町高岡字猪ノ谷	(1,291.00) -	不換地・特別減歩見合い 創設換地	福崎町	
		非-12	駐車場	神崎郡福崎町福田字二亦	(376.00) 380.00	特定用途用地換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和8年度 施行予定者 従前所有者
合計	内訳		不換地・特別減歩見合い創設換地		河川	(190.00) 190.00		
					県道	(650.00) 650.00		
					営農倉庫	(1,291.00) -		
					分家住宅	(499.00) 500.00		
					住宅用地	(180.00) 270.00		
					営農倉庫	- 90.00		
					農業用倉庫	(600.00) 600.00		
					小計	(3,410.00) 2,300.00		
					特定用途用地換地	原野	(1,429.00) 1,430.00	
						駐車場	(376.00) 380.00	
						宅地	(811.00) -	
						計	(6,026.00) 4,110.00	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 土地の評価は、条件差差積清算方式により次により行う。

- (1) 従前地の評価は工事後の土地を想定し、条件差の残る区域を除き標準区域とし、一律価格とする。評価額は別途評価換地委員会で定める。
- (2) 条件差区域の評価点数は、条件差区域の決定に採用した条件差項目毎の増減点数を評価換地委員会で現地踏査のうえ決定し、標準地の評価点数に項目別の増減点数を加えて算定する。
- (3) 条件差区域の土地評価は、評価点数に標準地の1㎡1点当たり単価を乗じて算出する。
- (4) 従前の一律の土地が標準区域と条件差区域にまたがる場合は、複合図で求めた各面積に条件差価格を乗じて算出する。
- (5) 換地の評価価額は、従前地の標準価格を換地交付率で除して算定する。
- (6) 工事後、あらたに生じた条件差のある区域については、現地踏査のうえ評価点数を決定し、評価点数に標準地の1㎡1点当たり単価を乗じて算出する。

2. 清算の方法

条件差差積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
北工区	令和元年～令和7年度	令和7年度	令和8年度	
南工区	令和元年～令和7年度	令和7年度	令和8年度	

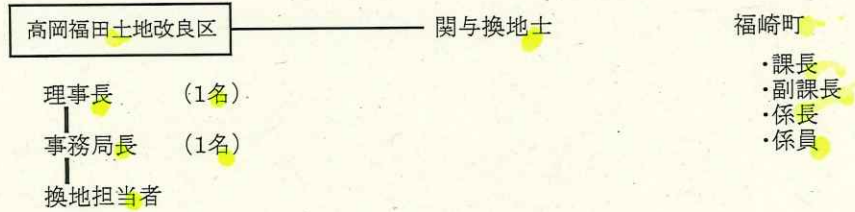
第6節 換地処分の特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定により換地処分を行うものとする。

換地事務処理体制

換地区	選 定 事 務			処 分 事 務		
	直営・委託の 区分及び項目	担 当 者 (委 託 者)	着 手 の 時 期	直営・委託の 区分及び項目	担 当 者 (委 託 者)	完 了 の 時 期
北工区 及び 南工区	委 託	高岡福田土地改良区 (兵庫県土地改良事業 団体連合会・業者等へ 再委託)	工事着手年度 平成30年度 選定事務着手年度 平成29年度	委 託	高岡福田土地改良区 (兵庫県土地改良事業 団体連合会・業者等へ 再委託)	工事完了(予定) 令和7年度 換地計画樹立 令和7年度 換地処分 令和8年度

換地事務処理体制（構造図）及び処理方法



(処理方針)

高岡福田土地改良区を設置することで、役場と農家の連携円滑化を図ると共に、土地改良事業の一部を県、町が補助する等、物心両面の援助を考えている。
換地事務は、上記機構図の体制で取り組むが、県土連(業者)のコンピューターを最大限に活用することにより、換地事務の促進を図る等、体制の確立に万全を期する方針である。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

総額 1,465,497,000 円
(単位:千円) (第26表)

区 分	事業費
工事費	904,020
区画整理	852,745
整地工	288,981
道路工	67,192
用水路工	261,753
排水路工	234,819
暗渠排水	51,275
附帯工(獣害柵)	9,290
用地補償費	30,210
測量試験費	407,326
換地費	44,865
事業費	1,395,711
事務費	69,786
総事業費	1,465,497

事務費 = 事業費 × 5 % (県営事業)

第 11 章 効 用

事業名	項 目		年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	備 考
	区 分				
農地環境整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果				
		作物生産効果	2,569	5,433	
		営農経費節減効果	89,971	89,971	
		維持管理費節減効果	△ 1,075	△ 1,075	
	農業の持続的発展に関する効果				
		耕作放棄地防止効果	13	0	
	農村の振興に関する効果				
		非農用地等創設効果	132	0	
	その他効果				
		国産農産物安定供給効果	1,164	0	
		計	92,774	94,329	

総費用（現在価値化） 1,498,497
 総便益額（現在価値化） 1,963,540
 総費用総便益比 1.31

第 12 章 関 連 す る 事 業

- ・ 県道前之庄市川線拡幅事業
- ・ 農村地域防災減災事業（桜）上池地区

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図